

D 12 AUG 2004	
WIPO	PCT

特 許 協 力 条 約

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)  
[PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 310201036WO1	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JPO3/08843	国際出願日 (日.月.年) 11.07.2003	優先日 (日.月.年) 15.07.2002
国際特許分類(IPC) Int. Cl. H04N 7/32		
出願人(氏名又は名称) 株式会社日立製作所		

- 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。  
☒ この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。  
(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)  
この附属書類は、全部で 2 ページである。
- この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
  - ☒ 国際予備審査報告の基礎
  - ☐ 優先権
  - ☒ 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
  - ☐ 発明の単一性の欠如
  - ☒ PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
  - ☐ ある種の引用文献
  - ☐ 国際出願の不備
  - ☐ 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 20.08.2003	国際予備審査報告を作成した日 22.07.2004	
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 長谷川 素直	5P 3241
電話番号 03-3581-1101 内線 3581		

様式PCT/IPEA/409(表紙)(1998年7月)

BEST AVAILABLE COPY

## I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に  
応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。  
PCT規則70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

- ☒ 明細書 第 1-38 ページ、出願時に提出されたもの  
明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの

- ☒ 請求の範囲 第 1-19 項、出願時に提出されたもの  
請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、PCT19条の規定に基づき補正されたもの  
請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
請求の範囲 第 20-22 項、29.03.2004 付の書簡と共に提出されたもの

- ☒ 図面 第 1-31 ~~ページ~~/図、出願時に提出されたもの  
図面 第 \_\_\_\_\_ ~~ページ~~/図、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
図面 第 \_\_\_\_\_ ~~ページ~~/図、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの

- ☐ 明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの  
明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である \_\_\_\_\_ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)という翻訳文の言語  
☐ PCT規則48.3(b)という国際公開の言語  
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3という翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表  
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった  
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 図面の第 \_\_\_\_\_ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならない、本報告に添付する。)

## Ⅲ. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成

1. 次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 11

理由：

☐ この国際出願又は請求の範囲は、国際予備審査をすることを要しない  
次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

☒ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 11 の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。  
請求の範囲 11 の「上記予測手順を決める情報は、上記動きベクトルの復号を伴わないモードを複数ある予測方法の何れを用いるかブロック毎に選択する情報である」という記載は日本語として著しく不明確であり、該記載が明細書に記載のどの事項に対応するものであるのかが不明である

☐ 全部の請求の範囲又は請求の範囲が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない。

☒ 請求の範囲 11 について、国際調査報告が作成されていない。

2. ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が実施細則の附属書C（塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のためのガイドライン）に定める基準を満たしていないので、有効な国際予備審査をすることができない。

☐ 書面による配列表が提出されていない又は所定の基準を満たしていない。

☐ 磁気ディスクによる配列表が提出されていない又は所定の基準を満たしていない。

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT第35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1-10, 12-22	有 無
	請求の範囲		
進歩性 (IS)	請求の範囲	3-10, 13-20	有 無
	請求の範囲	1, 2, 12, 21, 22	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-10, 12-22	有 無
	請求の範囲		

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1: WO 01/33864 A1 (コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス エヌ ヴィ), 2001. 05. 10

請求の範囲 1, 2, 12, 21, 22

請求の範囲 1, 2, 12, 21, 22に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1により進歩性を有しない。文献1の第1欄第20行目〜第2欄第3行目及び第1図には、動きベクトルの復号を伴わないモードであるダイレクトモードを含む複数のブロックモードを有し、予測方向を表す予測モードを選択する符号化方法が記載されており、予測で参照するフレームを複数の参照フレームの候補から選択するという周知技術を文献1に記載の符号化方法に採用することは、当業者にとって容易である。

また、復号処理済みの情報を用いて予測モードや参照フレーム、動きベクトルを決定することは、復号したヘッダから予測モードや参照フレーム、動きベクトル情報を得ることが普通に行われているように、周知技術である。

また、符号化処理済みの情報を用いて予測モードや参照フレーム、動きベクトルを決定することも、ローカルデコードした符号化済みの画像を用いて動きベクトルを探索する際に普通に行われているように周知技術である。

請求の範囲 3-10, 13-20

現在のブロックに隣接するブロックの動きベクトルに基づいて予測モードを選択すること、動きベクトルの選択と参照するフレームの選択とを異なる大きさのブロックに対して行うこと、及び、動きベクトルの復号を伴わないモードが選択された場合の予測手順を決める情報を多重化することは、国際調査報告で引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

19. 複数の上記ブロック単位に付されるヘッダに、ブロックモードとして上記動きベクトルの符号化を伴わないモードが選択された場合の予測手順を決める情報を含めて多重化することを特徴とする請求項12に記載の動画像の符号化方法。

5 20. (追加) 上記予測手順を決める情報は、上記動きベクトルの復号を伴わないモードの予測手順として複数の方法が定義されている場合に、その何れを用いるかをブロック毎に選択するための情報であることを特徴とする請求項10に記載の動画像の復号化方法

21. (追加) 動きベクトルに関する情報を受け取り、記録される参照画像と  
 10 該動きベクトルに関する情報とを用いて動き補償を行って予測画像を合成する動画像の復号化方法であって、上記動き補償は動きベクトルの復号を伴わないモードを含む複数のブロックモードを有し、

上記動きベクトルの復号を伴わないモードの予測手順が、予測方向を表す予測モードを復号処理済みの情報を用いて選択するステップと、該予測モードに  
 15 おける各予測方向の予測で参照するフレームを複数の参照フレームの候補から復号処理済みの情報を用いて選択するステップと、該予測モードで用いる動きベクトルの情報を復号処理済みの情報を用いて選択するステップとを有することを特徴とする動画像の復号化方式。

22. (追加) 動き補償を用いて合成された予測画像と入力画像の差分に関する  
 20 情報と、前記動き補償によって求められた動きベクトルに関する情報を多重化する動画像の符号化方法であって、上記動き補償は、動きベクトルの符号化を伴わないモードを含む複数のブロックモードを有し、

上記動きベクトルの符号化を伴わないモードの予測手順が、予測方向を表す予測モードを符号化処理済みの情報を用いて選択するステップと、該予測モー  
 25 ドにおける各予測方向の予測で参照するフレームを複数の参照フレームの候

42/1

補から符号化処理済みの情報を用いて選択するステップと、該予測モードで用いる動きベクトルの情報を符号化処理済みの情報を用いて選択するステップとを有することを特徴とする動画像の符号化方式。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**